

三馬小2年 神社探検にVサイン！



金沢市三馬小学校の2年生児童が11月10日、國造神社に訪れ、田中正真宮司から神社の由来やお参りの仕方などを学びました。神社の“探検”を終えた一行は、拝殿で田中宮司の「ハイポーズ」の呼びかけに、Vサインで応える剽軽な子供たちですが、生まれて初めて入る鏡の後ろの神殿の中では、さすがに神妙な面持ちで静かに歩き「何か」を感じ取ったようでした。チョッと古びた神社の中は奉納絵馬にしろ、扁額にしろ、子供たちの好奇心を膨らませるものが満ち溢れています。

12月5日(土)午前9時から境内の落ち葉、草取り清掃奉仕

こんな話 國造神社正誌（昭和37年刊）によると、神社の奉納物は古い順に事代主命御像（木造、1300年代作）、阿弥陀如来像（懸金仏、同）、虚空蔵菩薩像（木造、不詳）の記録があります。とりわけ知恵や知識、記憶の面で御利益があると信仰される虚空蔵菩薩像は前田利家が京都嵐山・法輪寺から譲られたもので裏鬼門鎮護の為、当神社に奉納されたと伝えられています。しかし現在の氏子総代でこの像を実見した人が誰もいない、言わば幻の存在です。ひょっとして、御神体として社の奥に鎮座しているかも知れませんが、貴重な地域のお宝です。ただ木造だけに損傷が激しくないか、今の保存状態が心配されています。

